



第14回上田八木・金融政策サーベイ(2017年9月)の結果について

～9月のMPM予想は前回に続き回答者全てが政策変更なしの見方。金利予想は概ね不変を予想。なお10年金利予想も不変が増加し、DIは+18へ低下(前回+44)。出口開始時期は今から3年以上先との見方が29%へ増加(前回18%)。 2017年9月19日(火)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

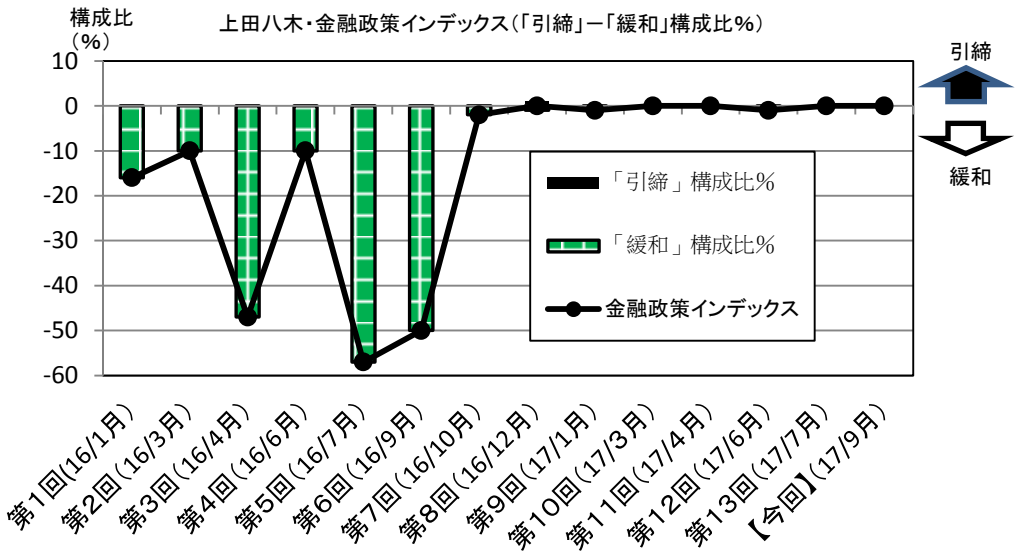
- 前回に続き回答者(181先)の全てが9月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先の無担保コールON金利予想DI、2年国債金利予想DIは前回からほぼ変わらず。10年金利予想は不変と回答する先が80%へ大幅上昇(前は48%)。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「3年以上」の見方が29%と前回(18%)より増加。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年9月13日～15日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	91.8% (回答者数181先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(9月20日～9月21日)における決定について



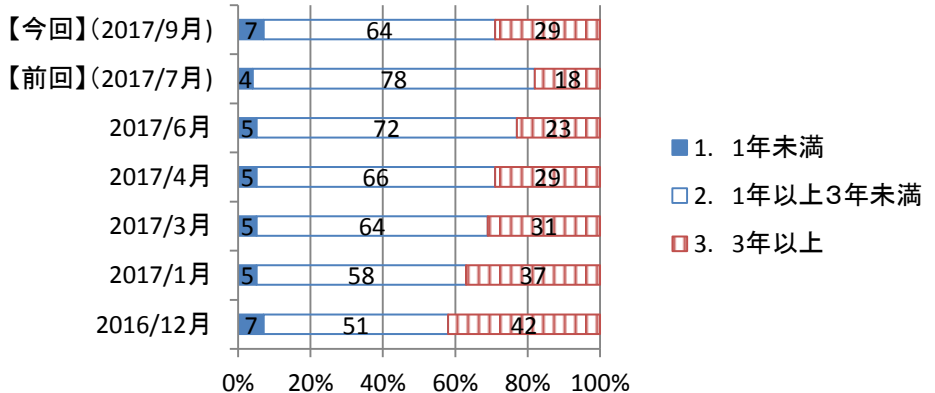
回答者の100%が「不変」の見方(前回と同じ)。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、0だった(前回と同じ)。

(ご参考)

【今回7回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

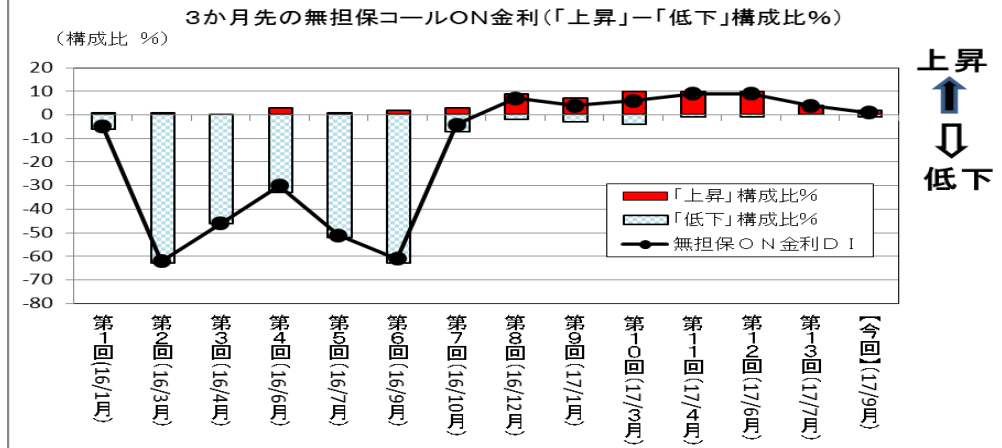
1年以上3年未満と回答する先が64%に減少(前回78%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の97%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は2%だった。

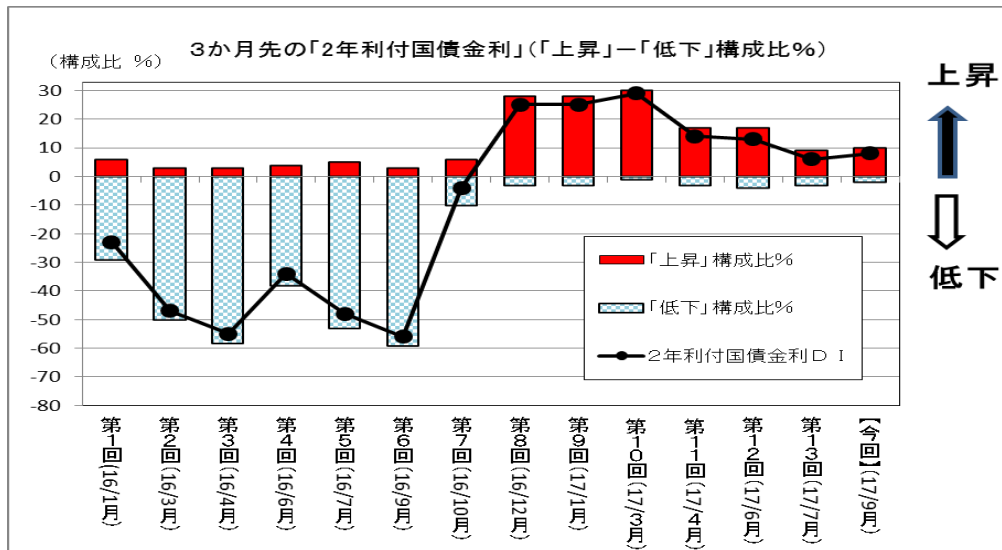
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回0%→今回1%)。「不変」とみる先が+1%ポイント(前回96%→今回97%)。「上昇」とみる先は▲2%ポイント(前回+4%→今回+2%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の88%が「不変」を予想。2%が「低下」。「上昇」を予想した先は10%であった。

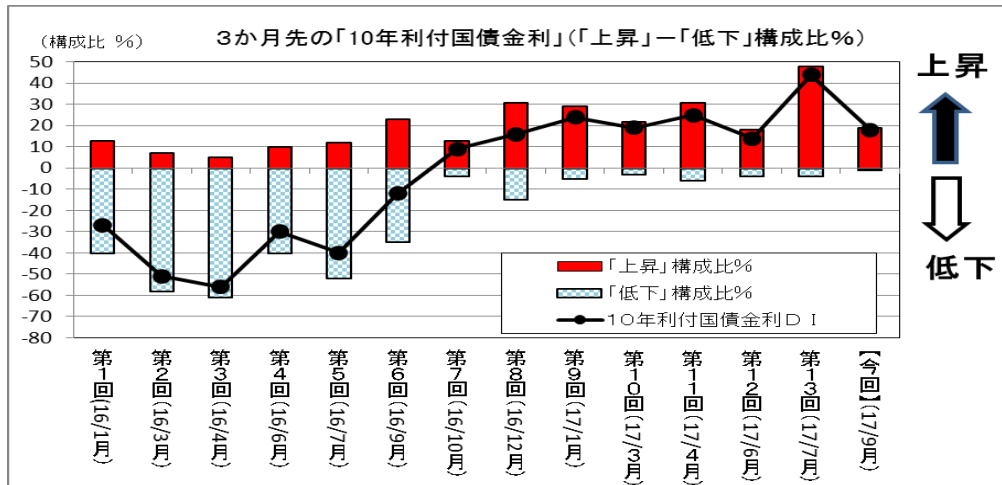
前回との比較では、「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回3%→今回2%)。「不変」とみる先は前回と同じ88%ポイント。「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回9%→今回10%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の80%が「不変」を予想と大幅に増加。1%が「低下」、「上昇」を予想した先は19%。

前回との比較では、「低下」とみる先は▲3%ポイント(前回4%→今回1%)。「不変」とみる先は+32%ポイント(前回48%→今回80%)。「上昇」とみる先は▲29%ポイント(前回48%→今回19%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)